

# 自然科学研究機構若手研究者賞授賞式及び記念講演にかかる 旅費の支援について

平成30年3月30日  
自然科学研究機構

自然科学研究機構の定める予算額を上限として、自然科学研究機構若手研究者賞授賞式及び記念講演にご招待した方に、自然科学研究機構役職員旅費規程に基づいて旅費を支援します。

## 1. 支援の対象者

高校（高等専門学校の本科学籍学生を含む）の[生徒（学生）]及び[引率の教員]

## 2. 支援の決定方法

「1」に掲げる支援の対象者であり、別紙の「第7回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演 参加旅費支援申込書」を提出した者（原則、受賞者（講演者）の母校優先、先着順）

支援決定者には5月を目途に「旅費支援参加登録証」を送付します。（同登録証には保護者の同意の署名捺印が必要です。）必要事項にご記入のうえ、当日受付に提出してください。

## 3. 支援する旅費

支援する旅費は、次に掲げるとおりです。本支援額は「支援を受ける子供さんの雑所得」となります。（引率の先生の場合は、ご本人の雑所得です。）

### (1). 鉄道及びバス利用の場合

学校の最寄りの鉄道の駅又はバス停から、開催場所である「日本科学未来館」の最寄り駅（新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」又は「テレコムセンター駅」）までの経済的なルート及び運賃による往復交通費（切符による計算額）。

必ず下記の「鉄道利用の場合の注意点」をお読みください。ご不明な点は「下記担当」までお問い合わせください。

### (2). 遠隔地等による航空機の利用や宿泊の場合

遠隔地等の理由により、航空機を利用しなければ当日中に帰宅できない場合や、宿泊しなければ出席できない場合等については、航空賃や宿泊費について支援可能な場合もございますので、「下記担当」までご相談ください。

#### 4. お支払い方法

開催日当日、受付にて「旅費支援参加登録証」を受領した方について、7月末<sup>1</sup>を目途にご指定の口座にお振込みいたします。（現金によるお支払いはできません。）

#### 【鉄道利用の場合の注意点】

- バス賃、鉄道賃は、原則として「最も経済的な（安価な）経路及び運賃」で計算した額でお支払いします。このため、支払い額は実際にかかった鉄道賃と一致しない場合があります。
- 同一の特急列車に継続して乗車（同一路線の新幹線の乗り換えは可）している区間の距離が100km以上の場合、特急料金及び座席指定料金をお支払いします。区間の距離が100km未満の特急料金やグリーン席料金はお支払いできません。
- 最も経済的な運賃とは、学生の場合は、学生割引<sup>2</sup>となるほか、往復割引<sup>3</sup>（JR片道601km以上）や同一行程の学生が8人以上集まった場合は、団体割引<sup>4</sup>を適用して鉄道賃を計算するものです。乗車券等購入の際はこれらの割引料金に十分ご注意願います。  
割引制度を利用した切符の買い方については、次のJRのHPをご参照ください。<https://www.jreast.co.jp/kippu/index.html>

#### 5. 学校で貸切バスを利用する場合

希望者が多数等の理由により、学校として貸切バスをご利用になる場合は、貸切バスの費用を支援します。必ず事前に「下記担当」までご相談ください。予算の関係もあり、事後では支援できません。貸切バスの場合は、自然科学研究機構が業務契約をバス会社と締結し、直接代金をバス会社に支払います。

#### 6. 本件担当

第7回自然科学研究機構若手研究者賞授賞式及び記念講演事務局  
（自然科学研究機構 事務局企画連携課企画連携係）  
TEL: 03-5425-1898（平日 8:30-17:15） FAX:03-5425-2049  
E-mail: risingsun7@nins.jp  
URL: <http://www.nins.jp/risingsun.php>

---

<sup>1</sup> 7月末までにお支払いできるのは、開催日まで自然科学研究機構が指定する支払いに必要な書類を全てご提出頂いている場合です。

<sup>2</sup> 学生割引は、片道の営業キロが100キロを超える乗車券に適用され、運賃が2割引となります。

<sup>3</sup> 往復乗車券をご利用になる場合に、片道の営業キロが601キロ以上あれば、「往路」、「復路」の運賃がそれぞれ1割引になります。学生割引と合わせて適用でき、往復割引で1割引になった運賃がさらに学割で2割引になります。

<sup>4</sup> 学生団体〈中学生以上〉50%引、〈教職員〉30%引（学校長の証明する団体旅行申込書が必要）